

データ収録伝送装置

DLT-8000

あらゆるデータの遠隔収集
携帯電話回線や衛星回線経由でデータを取得



1 概要

DLT-8000は、プロトン磁力計等の遠隔センサ機器のデータを保存し、携帯電話回線または衛星電話回線を経由してデータを取得します。

インターネット接続PCからそのデータを利用可能にするシステムを構築します。

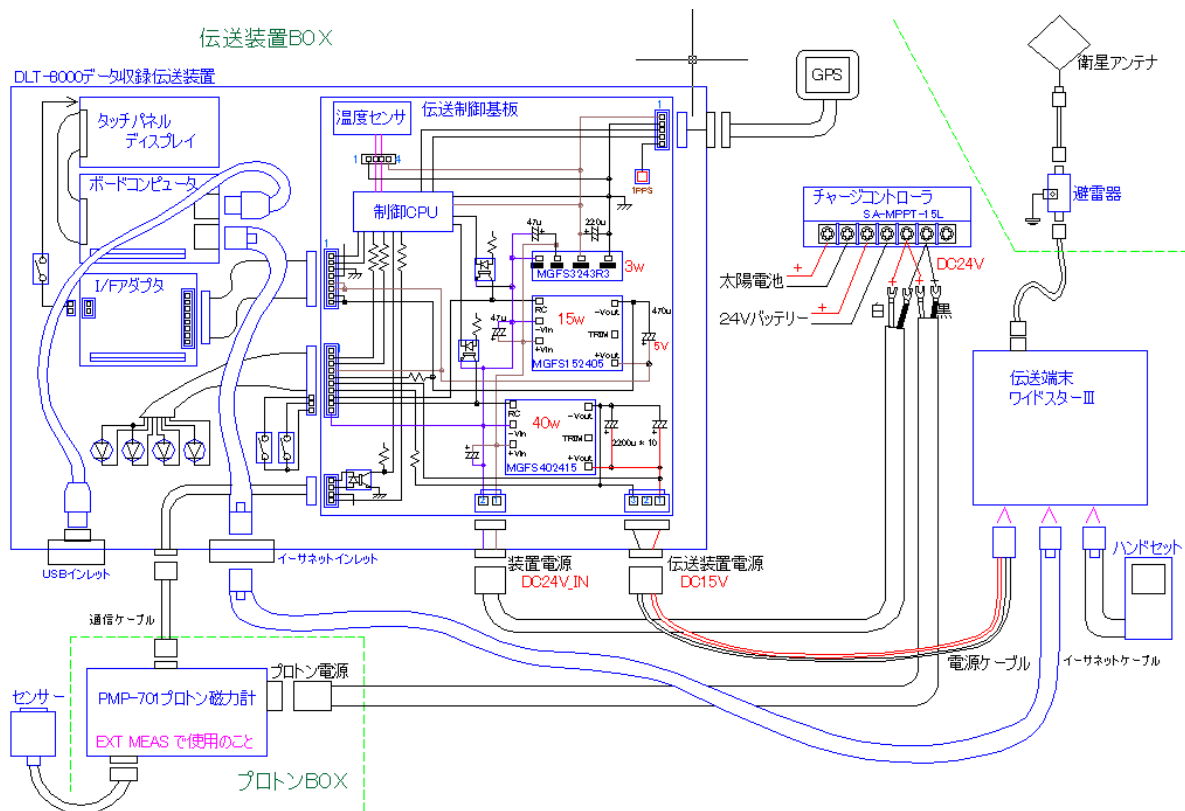
2 特徴

- 携帯電話回線(LTE)または衛星電話回線(ワイドスターⅢ)を利用
- インターネットが利用できるパソコンがあればどこからでもデータの取得が可能
- 低消費電力(アクセスタイムを設定可能)

3 仕様

動作温度	温度：0～50℃ 湿度：0～90%
動作電圧	12V / 24V
消費電力	伝送端末(LTE / 衛星)による
対象計測装置	プロトン磁力計・フラックスゲート磁力計 その他
保存	データサーバー容量 10GB
データインターフェイス	例) プロトン磁力計 絶縁2400bps シリアル
通信プロトコル	TCP / UDP HTTP (ポート80) TCP / UDP SMB (ポート445)
設定変更	リモート設定で設定変更可能
時計	GPSで校正されたRTC時計
保存データフォーマット	標準データファイル方式 CSV(カンマ区切り) / SSV(半角スペース区切り)
データ内容	測定日・時・分 (データ・電源電圧・温度・その他)

4 構成ブロック図(使用例)



KEI 国際電子工業株式会社

〒193-0832 東京都八王子市散田町5丁目4番20号

未来の計測技術を追求する

製品に関する
お問い合わせは
こちらまで

☎ 042-661-7981
✉ info@digitro.jp
🌐 <https://digitro.jp/>



- * デジタル計測器
- * データ処理装置
- * サーボ機構
- * プロトン磁力計
- * 地球物理学関連測定器
- * 各種電源